

制御層情報連携意見交換会

Control Layer Informational Cooperation (CLiC)

■ IAF CLiC活動方針

- ・制御層における情報連携の有効性の確認と国際標準規格※の活用検討
- ・新規技術項目の創出と標準化の提案

※情報連携で国際標準規格を用いるメリット

- ①規格化された共通機能を簡単に使える
- ②国際的なビジネスにおいて有利になる

■ シーズ分科会

目的：Industrial IoT(IIoT)における、生産システムの情報連携で注目すべき国際標準規格の選定と、その連携を検討

- 実績：・KEI MODELに有効なユースケースの提案(ネットワークプロファイルのKPI定義によるKPI計算効率化の検討)
 ・KPI情報取得に関する各団体技術の活用検討(プロファイル、FB、Automation ML のスタディ)

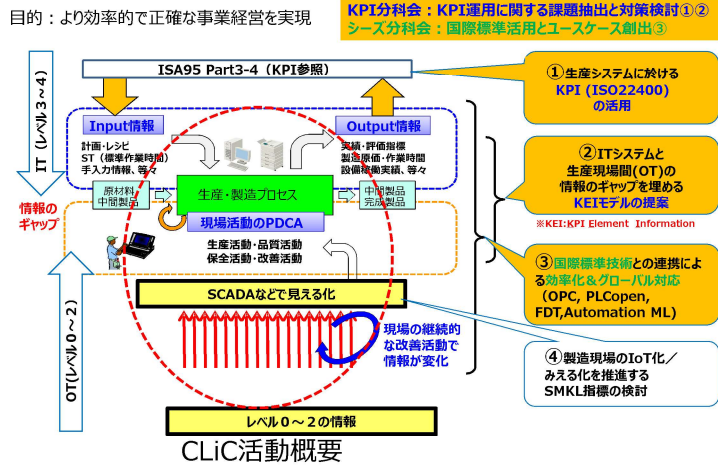
注目すべき国際標準規格：OPC UA、PLCopen、FDT、AutomationML

■ KPI分科会

目的：産業用KPI(ISO 22400)の利用において KPI Elementを標準化する方法論の確立と実証を行う。

また、SMKLプロジェクトとの連絡を行う

実績：製造現場の炭素排出量をIIoT化の評価指標(KPI)として提案。また、それを見る化するSMKL指標を提案。



KEI モデル (KPI Element Information Model)
 ~製造現場側(OT)が作る情報モデルを、IT側へ提供し情報ギャップを解消~

二酸化炭素排出量KPIに関するKEIモデルの構造

